

ヘッダーレコードの並び順について

(1) 外貨預金入出金明細

① 「日付順」のお客さま

ヘッダーレコードの並び順は、「日付」の昇順、「口座（店番・科目コード・口座番号）」の昇順です。
データレコードの有無に関わらず「全銀行営業日」/「全口座」のヘッダーレコードが作成されます。*
* 通知間隔を「翌日一括」でご契約のお客さまは、サイクル番号「01」のみ受信可能です。
サイクル番号「02」以降はファイルなしエラーとなります。

例 <一部のヘッダーレコードにデータレコードがある場合>

H	T	H	T	H	D	D	T	H	D	T	H	T	H	T	H	D	T	H	T	E
口座a	口座b	口座c	口座d	口座a	口座b	口座c	口座d													
8月1日								8月2日												

例 <データレコードが0件の場合>

H	T	H	T	H	T	H	T	H	T	H	T	H	T	E
口座a	口座b	口座c	口座d	口座a	口座b	口座c	口座d							
8月1日								8月2日						

凡例
H：ヘッダーレコード
D：データレコード
T：トレーラレコード
E：エンドレコード

② 「口座順」のお客さま

ヘッダーレコードの並び順は、「口座（店番・科目コード・口座番号）」の昇順です。

■ ダミーヘッダー作成ありの場合
データレコードの有無に関わらず「全口座」のヘッダーレコードが作成されます。*
* 通知間隔を「翌日一括」でご契約のお客さまは、サイクル番号「01」のみ受信可能です。
サイクル番号「02」以降はファイルなしエラーとなります。

例 <一部のヘッダーレコードにデータレコードがある場合>

					8/1	8/2			8/1					
H	T	H	T	H	D	D	D	T	H	D	T			E
口座a	口座b	口座c	口座d						口座c	口座d				

例 <データレコードが0件の場合>

H	T	H	T	H	T	H	T	E
口座a	口座b	口座c	口座d					

■ ダミーヘッダー作成なしの場合
データレコードがある「口座」のヘッダーレコードが作成されます。
データレコードが0件の場合は、ファイルなしエラーとなります。

例 <一部のヘッダーレコードにデータレコードがある場合>

					8/1	8/2			8/1					
H	D	D	T	H	D	T								E
	口座c			口座d										

例 <データレコードが0件の場合>
ファイルなしエラー

① 「日付・取引先番号・取引種類順」のお客さま

例 ≪一部のヘッダーレコードにデータレコードがある場合≫

例 《データレコードが0件の場合》

凡例

例 《複数の取引先番号のデータにおいて、一部のヘッダーレコードにデータレコードがある場合》

例 ≪複数の取引先番号のデータにおいて、データレコードが0件の場合≫

② 「取引先番号・取引種類・日付順」のお客さま

例 ≪一部のヘッダーレコードにデータレコードがある場合≫

例 《データレコードが0件の場合》

ファイルなしエラー

例 ≪複数の取引先番号のデータにおいて、一部のヘッダーレコードにデータレコードがある場合≫

8月1日			8月2日			8月1日			8月1日				
H	D	D	T	H	D	T	H	D	T	H	D	T	E
取引種類A						取引種類B			取引種類A				
取引先番号 b									取引先番号 c				